

## 中田 裕子 先生

### 先生のプロフィール

【出身地】三重県

【専攻】英米法

【近年(2~3年)の担当科目】

英米法、外書講読、海外法文化 A

【2024年度の目標】

- ①久々に渡英して、知り合いの研究者と対面で会いたい！
- ②カフェイン摂取量を減らす！



【今の専門科目に興味を持ったきっかけは何ですか？】

元々、担保法、抵当権にとっても興味がありました。でも、それは日本法での話だったのですが、大学で勉強を進める中で、海外の法律はどうなっているんだろう？と単純に疑問に思ったのが始まりです。語学が好きだったので、まずは英語の論文や判例を読み始めました。法律用語の難しさや理解のしづらさにビックリ！悔しくて、英米法をはじめ外国法の講義も軒並み受講したのに、まだよくわからない。じゃあ、もう少し本格的に、体系的に学びたいと東大の英米法専攻を受験することを決め（大学4年生！遅い！）、飛び込んでみたら…。気が付いたらどっぷり漬かりきっておりました。

【講義時に心掛けていることはありますか？】

喉をつぶさないように、寝るときは加湿器を付けたり、のど飴をなめるなどして、細心の注意を払って喉のケアをしています。

【ゼミを実施するにあたって心がけていることは何ですか？】

ゼミの初めに「失敗することは恥ずかしくない」という話は必ずするようにしています。小さな失敗を積み重ねると、大きな失敗をしにくくなります。普段のゼミではたくさん発言をして、たくさん失敗をして、次から気を付けよう、どこを直そうと考えながら帰ってほしいといつも考えています。でもそのためには、失敗することが怖くないゼミの雰囲気大事なので、そういった雰囲気づくりを心がけております。

【ゼミの特徴・特色は何ですか？】

学生のやりたい！という意思・意見を尊重するゼミです。ゼミでは真剣に課題研究に取り組み、課外活動も充実しています。

【先生が学生時代に失敗したいことや後悔していることはありますか？】

フランスの絵本作品『リサとガスパール』に出てくるリサにつけていたランドセルを大学構内で落とし、大学の警備員やいろいろな人に聞いて回って探していたところ、学部の人に「リサとガスパールの人」という呼び名で認識されました。(笑)

【学生に向けて一言お願いします。】

“When life gives you lemons, make lemonade.”直訳すると、「人生があなたにレモンを与えるなら、レモネードを作ろう。」つまり、あなたの人生に何かつらい出来事や困難が降りかかってきても、それをいいものに変えよう！というポジティブな言葉です。私は、いつもそう考えて過ごしています。

★ 中田 ゼミの実態！（2023年度ゼミ生5名）

★ 中田 先生のトリセツ

- ・とても親切で、優しい先生です。
- ・英米法に関しては、とても丁寧に日本法との違いや最新の判例などを使って教えていただけます。
- ・また、法学部の勉強の仕方などもアドバイスをしてくれます。
- ・ゼミ生の意見を尊重して、ゼミの運営をしてくれます。

【日々の準備、課題】

- ・各自でゼミ発表の準備
- ・ゼミ発表のための教材の読み込み

【長期休暇課題】

- ・夏休み前に各自で目標を決め、夏休み後にそれが達成されたかを発表形式で報告。

【ゼミでやったこと】

- ・ゼミ発表
- ・学期末レポートの執筆  
(3年生：6000字、2年生：4000字)
- ・ディベート（英米法に関する内容）
- ・BBQ
- ・食事会
- ・その他季節に応じた様々なイベント  
(ハロウィンパーティーなど)